十　歩行者保護性能	前二号の試験	歩行者頭部保護性能試験及び歩行者脚部保護性能試験における測定結果に基づき算出された歩行者の保護性能を示す零点以上百点以下の点数
十一　座席ベルト非着用時警報装置性能	運転者席以外の座席に座席ベルトを装着していない乗員が乗車した試験自動車を走行する試験及び運転者席以外の座席に座席ベルトを装着した乗員が乗車した試験自動車が走行中に座席ベルトを装着されていない状態にする試験	座席ベルト非着用時警報装置作動時の警報について、運転者及び運転者以外の乗員の視認性、警告音の有無並びに当該装置の作動状況に基づき座席ベルトの着用率の向上の程度を示す五段階の指標
十二　衝突安全性能	第二号から第六号まで、第八号、第九号及び第十一号の試験	フルラップ前面衝突安全性能試験、オフセット前面衝突安全性能試験、側面衝突安全性能試験、後面衝突頸部保護性能試験、歩行者脚部保護性能試験及び座席ベルト非着用時警報装置性能試験における測定結果に基づき総合的な衝突安全性能を示す五段階の指標
十三　後席座席ベルト使用性（外側後席に限る。）	イ　試験自動車の外側後席の座席にダミーを定置した後、ダミーの肩の位置から座席ベルトの最短距離を測定する試験	座席ベルトへのアクセスの容易性を示す三段階の指標
	ロ　試験自動車の外側後席の座席にダミーを定置した後、座席ベルトを装着し、座席ベルトの締め付け力を測定する試験	座席ベルトを装着した時の快適性を示す三段階の指標
	ハ　座席ベルトのバックルを目視により他のベルトのバックルと区別する試験	座席ベルトのバックルの識別の容易性を示す三段階の指標
	ニ　座席ベルトのバックルの結合及び解離を反復する試験	ベルトのバックルの結合の容易性を示す三段階の指標
十四　後席座席ベルト使用性（中央後席に限る。）	座席ベルトの種類を確認する試験及び座席ベルトの装着の容易性を評価する試験	座席ベルトの種類及び座席ベルトの装着の容易性を示す二段階の指標
一　前面衝突安全性能（乳児用ベッドに限る。）	横向き動的試験　試験用座席に年少者用補助乗車装置を横向きに固定し、かつ、ダミーを定置した後、当該試験用座席の速度を五十五キロメートル毎時とし、加速度及び減速度を当該試験用座席に発生させた時に起こる合成加速度、乳児用ベッド本体が否かをいう。以下同じ。）並びにバックルの解離性（衝突時に年少者用補助乗車装置のバックルが解離したか否かをいう。以下同じ。）に基づいた四段階の指標	取付部及びダミーの強度保持機能に年少者用補助乗車装置の前方への移動量、頭部の前方への移動量、胸部合成加速度、幼児用シートの放出性、バックルの解離性、幼児への加害性（衝突時に年少者用補助乗車装置により腹部等身体の弱い部分を圧迫するなど当該装置が幼児に傷害を与えるおそれがあるか否かをいう。）並びにダミーの座席脱落性（衝突時にダミーが年少者用補助乗車装置から脱落したか否かをいう。）に基づいた四段階の指標

2　国土交通大臣は、前項各号に掲げる試験を行うに当たっては、試験自動車を、市場における普及率が低いものを除くすべての安全装置が装備された状態で使用するものとする。

（年少者用補助乗車装置の評価）

第五条　年少者用補助乗車装置の評価は、次の表の上欄に掲げる評価項目ごとに、同表の中欄に掲げる試験方法により試験を行った上で、同表の下欄に掲げる事項を確認することにより行うこととする。

	席の速度を五十五キロメートル毎時とし、加速度及び減速度を当該試験用座席に発生させた時に起こる合成加速度の挙動等を観測する試験	成加速度、乳児用ベッド本体が否かをいう。）並びにバックルの解離性（衝突時に年少者用補助乗車装置のバックルが解離したか否かをいう。）に基づいた四段階の指標
二　前面衝突安全性能（幼児用シートのうち幼児を後ろ向きに拘束又は定置するものに限る。）	後ろ向き動的試験　試験用座席に年少者用補助乗車装置を後ろ向きに固定し、ダミーを定置した後、当該試験用座席の速度を五十五キロメートル毎時とし、加速度及び減速度を当該試験用座席に発生させた時に起こる合成加速度の計測及びダミーの挙動等を観測する試験	取付部及びダミーの強度保持機能を持つ各部の破壊状況、シート・バック面の最大傾斜角度、ダミーの頭部の前方への移動量、胸部合成加速度、幼児用シートの放出性に基づいた四段階の指標
三　前面衝突安全性能（幼児用シートのうち幼児を前向きに拘束又は定置するものに限る。）	前向き動的試験　試験用座席に年少者用補助乗車装置を前向きに固定し、かつ、ダミーを定置した後、当該試験用座席の速度を五十五キロメートル毎時とし、加速度及び減速度を当該試験用座席に発生させた時に起こる合成加速度の計測及びダミーの挙動等を観測する試験	取付部及びダミーの強度保持機能を持つ各部の破壊状況、ダミーの頭部の前方への移動量、胸部合成加速度、胸部合成加速度、胸椎の接触状況、幼児用シートの放出性、バックルの解離性、幼児への加害性（衝突時に年少者用補助乗車装置により腹部等身体の弱い部分を圧迫するなど当該装置が幼児に傷害を与えるおそれがあるか否かをいう。）並びにダミーの座席脱落性（衝突時にダミーが年少者用補助乗車装置から脱落したか否かをいう。）に基づいた四段階の指標
四　使用性	年少者用補助乗車装置の取扱いやすさ、装着性、操作性、取扱いの説明のわかりやすさ等使用者の自動車の座席への確実な取付けのしやすさを評価する試験	年少者用補助乗車装置の評価に熟知した複数の専門家による、試験対象の年少者用補助乗車装置の取扱説明書、本体表示、本体機構の安全性、取付性及び装着性についての五段階の指標

（公表項目）

第六条　国土交通大臣は、第四条に基づき評価された試験自動車ごとに、及び第五条に基づき評価された年少者用補助乗車装置ごとに、それぞれの評価の結果を公表するとともに、自動車の安全装置の装備状況等を公表するものとする。

（公表方法）

第七条　国土交通大臣は、前条の公表項目を冊子に取りまとめるとともに、それをインターネット等を用いて公表するものとする。

（実施機関）

第八条　独立行政法人自動車事故対策機構は、第四条及び第五条に規定された試験の実施に係る事務及び第七条に規定された公表に係る事務を行うものとする。

（その他国土交通大臣が評価の実施及びその結果の公表のために必要と認める事項）

第九条　国土交通大臣は、評価の実施及びその結果の公表に際し、自動車等に関する学識経験を有する者及び自動車等の使用者等から意見を聞くものとする。

附　則

この告示は、公布の日から施行する。